

## フランス語圏舞台芸術・文献目録

(2013)

北原まり子・堀切克洋 (編)

### 1. 著作・翻訳

#### 一般書

- アラン・パジェス『フランス自然主義文学』足立和彦訳、白水社、クセジュ文庫、2013年
- 鹿島茂、倉方健作『カリカチュアでよむ19世紀末フランス人物事典』白水社、2013年
- 岡田正子『ふり返れば革命人生:パリのいろどり』カモミール社、2013年
- ジェイスン・アーカリ『21世紀俳優のための21キーワード:現代ヨーロッパの演劇トレーニング』アレクサンダ・パヴロスキ訳、石井麗子補訳、武久出版、2013年
- 小畑精和『カナダ文化万華鏡——『赤毛のアン』からシルク・ドゥ・ソレイユへ』明治大学出版会、2013年
- 鈴木晶『オペラ座の迷宮:パリ・オペラ座バレエの350年』新書館、2013年
- 村山久美子『二十世紀の10大バレエダンサー』東京堂出版、2013年
- 三浦雅士『ブラヴォー!:パリ・オペラ座エトワールと語るバレエの魅力:三浦雅士インタビュー集』新書館、2013年
- 山本ゆりこ、アトランさやか『10人のパリジェンヌ』毎日新聞社、2013年
- 渡辺諒『フランス・ミュージカルへの招待』春風社、2013年
- 薄井憲二、芳賀直子、辺見海『兵庫県立芸術文化センター薄井憲二バレエ・コレクション:目録. 第2巻(書籍類・雑誌)』兵庫県立芸術文化センター、2013年
- デヴィッド・ビントレー(監修)『DVDバレエ名作物語6ジゼル』世界文化社、2013年
- 戸口幸策、森田学監修『オペラ事典』東京堂出版、2013年
- 石戸谷結子『オペラ入門』ヤマハミュージックメ

ディア、2013年

西原稔『世界史でたどる名作オペラ』東京堂出版、2013年

森岡実穂『オペラハウスから世界を見る』中央大学出版部、2013年

山田治生、渡辺和『戦後のオペラ:1945~2013』新国立劇場運営財団情報センター、2013年

ベネディクト・ナイチンゲール、マーティン・パルマー『レ・ミゼラブル:舞台から映画へ』山上要訳、日之出出版、2013年

#### 研究書・評論

『思想 特集=デイドロ生誕300年』2013年12月号、岩波書店

佐藤実枝『マリヴォー偽りの打ち明け話:翻訳と試論』早稲田大学出版部、2013年

黒木朋興『マラルメと音楽:絶対音楽から象徴主義へ』水声社、2013年

伊藤亜紗『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』水声社、2013年

岡室美奈子、川島健編『バケツを見る八つの方法:批評のボーダレス』水声社、2013年

『ふらんす 特集=エメ・セゼール生誕100年』2013年6月号、白水社

岩本和子、石部尚登編『「ベルギー」とは何か?:アイデンティティの多層性』松籟社、2013年

高田和文、松本茂章『SPACの15年:静岡県舞台芸術センターの創造活動と文化政策をめぐって』、静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター、2013年

ナンシー・レイノルズ、マルコム・マコーミック『20世紀ダンス史』慶應義塾大学出版会、2013年

内藤義博『ルソーとフランス・オペラ』ブイツーソリューション、星雲社、2013年

澤田肇『フランス・オペラの魅惑:舞台芸術論のための覚え書き』上智大学出版、2013年

Bénazet Alexandre, *Le théâtre au Japon : ses rapports avec les cultes locaux*, Paris, Hachette Livre BNF, 2013 [éd. 1901]

Nishino Ayako, *Paul Claudel, le nô et la synthèse des arts*, Paris, Champion, 2013

Geulincx Arnold, Beckett Samuel, *Notes de Beckett sur Geulincx*, établi par Nicolas Doutey avec la

participation de Eri Miyawaki, Paris, Édition les solitaires intempestifs, 2013

Doganis Basile, *Pensées du corps: Philosophie à l'épreuve des arts gestuels japonais (danse, théâtre, arts martiaux)*, Paris, Belles Lettres, 2013

Bizet François, *Tozai !... Corps et cris des marionnettes d'Osaka*, Paris, Belles Lettres, 2013

Murakami-Giroux Sakae, Reck Isabelle, *Pourquoi le théâtre ?*, Arles, Éditions Philippe Picquier, 2013

## 戯曲

アルフレッド・ジャリ『ユピュ王』竹内健訳、現代思潮新社、2013年 [1965年]

サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』安堂信也、高橋康也訳、白水社、2013年 [1990年]

エメ・セゼール『クリストフ王の悲劇』尾崎文太、片桐祐、根岸徹郎訳、佐伯隆幸監訳、れんが書房新社、2013年

ベルナル＝マリ・コルテス『西埠頭／タバタバ』佐伯隆幸訳、れんが書房新社、2013年

ヴァレール・ノヴァリナ『紅の起源』ティエリ・マレ訳、れんが書房新社、2013年

マリー・ンディアイ『パパも食べなきゃ』根岸徹郎訳、れんが書房新社、2013年

エンゾ・コルマン『天使達の叛逆／ギブアンドテイク』北垣潔訳、れんが書房新社、2013年

クロディーヌ・ガレア「ほとりで」『ITI 紛争地域から生まれた演劇 その4：ドラマ・リーディング上演台本』佐藤康訳、国際演劇協会日本センター、2013年、pp.7-19

渡邊守章、浅田彰「上演台本 マラルメ・プロジェクトⅢ『イジチュール』の夜へ：「エロディアド」／「半獣神」の舞台から」『舞台芸術』第17号、2013年、pp. 111-155

Hardy Alexandre, *Théâtre complet*, t.3, éd. Tomotani Tomoki, Vialleton Jean-Yves, Paris, Classiques Garnier, 2013

## 翻訳その他

ステファヌ・マラルメ「ゴシップ 1875-1876」『アシニアム』(5)『慶応義塾大学日吉紀要・フランス語フランス文学』第56号、原山重信訳、日吉紀要刊行委員会、2013年、pp. 55-70

アーサー・オショネシー「マラルメの「ゴシップ」『アシニアム』1875-1876 補遺」『慶応義塾大学日吉紀要・フランス語フランス文学』第57号、原山重信訳、日吉紀要刊行委員会、2013年、pp. 65-70

Amagatsu Ushio, *Des rivages d'enfance au bûto de Sankai Juku*, propos recueillis par Kyoko Iwaki, Paris, Actes Sud, 2013

## 2. 学術論文

### 中世・17世紀・18世紀

黒岩卓「中世演劇におけるジャンヌ・ダルク：『オルレアン攻囲の聖史劇』を巡って」『Nord-est』第5・6号、仏文学会東北支部会報、2013年、pp. 38-42

友谷知己「十七世紀フランスの残酷劇について：『残忍なるムーア人』を中心に」『仏語仏文学』第39号、関西大学フランス語フランス文学会、2013年、pp. 3-28

石川知広「怪物と毒と悲劇の時間：ラシーヌ『フェードル』をめぐる」『人文学報』第481号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系、2013年、pp. 141-172

小倉博孝「『アルセスト』論争とラシーヌの『イフィジェニー』」『上智大学仏語・仏文学論集』第47号、上智大学仏文学科、2013年、pp. 87-106

真下弘子「ネロ、あるいは反キリスト者：ラシーヌの『ブリタニキウス』をめぐる (Néron ou l'Antéchrist : sur BRITANNICUS de Racine)」『フランス語フランス文学論集』第56号、西南学院大学学術研究所、2013年、pp. 1-12

秋山伸子「モリエール『タルチュフ』の謎」『文学』2013年1・2月号、岩波書店、pp. 172-180

榎本恵子「フランスにおけるプラウトゥス翻案劇『メネクム兄弟』誕生の背景」『上智大学仏語・仏文学論集』第47号、上智大学仏文学科、2013年、pp. 65-85

——「プラウトゥスおよびテレンティウスの継承者としてのモリエール (Molière, successeur de Plaute et Térence)」『フランス語フランス文学研究』第102号、仏文学会、2013年、pp. 19-34

久保田麻里「モリエール喜劇における理性の変化：

狂気をめぐる登場人物の動きについての考察』『仏文研究』第44号、京都大学フランス語学フランス文学研究会、2013年、pp. 129-144

永井典克「第三共和制と聖別化されるモリエール」『教養論集』第24号、成城大学、2013年、pp. 31-46

梶谷二郎「Corneilleの *Nicomède* における admiration について」『ノートルダム清心女子大学紀要：外国語・外国文学編』37号、ノートルダム清心女子大学、2013年、pp. 45-68

富田高嗣「トマ・コルネイユ作『偶然の約束』」『長崎外大論叢』第16号、長崎外国語大学、2012年、pp. 101-112

浅谷真弓「17世紀フランスに蘇ったテレンティウスの『宦官』」『人文研究紀要』第76号、中央大学人文科学研究所、2013年、pp.61-87

奥香織「マリヴォーとイタリア人劇団：演劇創造の源泉としての演技 (Marivaux and the Théâtre-Italien: Acting as a Source of Theatrical Creation)」『西洋比較演劇研究』第12巻第2号、西洋比較演劇研究会、2013年、pp. 187-198

浅谷真弓「デイドロにおける趣味の変容、あるいは『演劇論』」『中大仏文研究』第45号、中大仏文研究会、2013年、pp.1-14

大橋完太郎「パントマイムする身体の相：『劇詩論』と『ラモーの甥』から」『思想 特集=デイドロ生誕300年』2013年12月号、岩波書店、pp. 232-250

佐藤淳二「主体についての逆説：デイドロとルソーの俳優論への序説」『思想 特集=デイドロ生誕300年』2013年12月号、岩波書店、pp. 251-268

増田真「言語と他者：デイドロと18世紀フランスの言語論」『思想 特集=デイドロ生誕300年』岩波書店、2013年12月号、pp.269-285

譲原晶子「演劇における「タブロー」の概念：デイドロの演劇論を中心に」『千葉商大論叢』第51号、千葉商科大学、2013年、pp. 215-224

中山智子「フランス革命期(1789-1799)のパリの演劇状況」『研究論叢』第82号、京都外国語大学・京都外国語短期大学、2013年、pp.121-128

## 19世紀・20世紀

稲本健二「メリメのスペイン演劇論四題」『言語

文化』第15号、同志社大学言語文化学会、2013年、pp. 195-220

藤田衆「NervalとLe Monde dramatique」『名城大学人文紀要』第49号、名城大学人文研究会、2013年、pp. 3-20

横田宇雄「視覚芸術家としてのゾラ」『学習院大学人文科学論集』第22号、学習院大学、2013年、pp. 219-242

永倉千夏子「〈彼女〉の婚礼：『エロディアードの婚礼』読解のために」『マラルメの現在』大出敦編、水声社、2013年、pp. 139-174

坂口周輔「物質と精神のあいだで：マラルメにおけるヴィジョンあるいはイメージ」『マラルメの現在』大出敦編、水声社、2013年、pp. 241-273

内田智秀「モーリス・メーテルランク『青い鳥』の結末について」『日本フランス語フランス文学会中部支部研究報告集』第37号、仏文学会、2013年、pp. 59-78

中筋朋「ジャン・ジュリアンと雑誌『芸術と批評』：世紀末演劇理論における自然主義と象徴主義 (Jean Jullien et la revue *Art et Critique* : Naturalisme et symbolisme dans la théorie théâtrale fin-de-siècle)」『フランス語フランス文学研究』第103号、仏文学会、2013年、pp. 43-60

真野倫平「グラン＝ギニョル劇と細菌学：フランシュヴィル『美しき連隊』を中心に」『南山大学ヨーロッパ研究センター報』第19号、南山大学ヨーロッパ研究センター、2013年、pp. 29-37

内田智子「シャルル・デュランと仮面：東西の文化圏とその先を目指して」『演劇映像学2012』早稲田大学演劇博物館、2013年、pp.85-98

中筋朋「ミシェル・ド・ゲルドロードにおける存在のモデルとしてのマリオネット」『「ベルギー」とは何か? : アイデンティティの多層性』、pp. 164-182

鹿野祐嗣「未来の演劇と新しい哲学」『演劇映像学2012』、早稲田大学演劇博物館、2013年、pp. 73-83

角井誠「テキスト、情動、動物性——ジャン・ルノワールとルイ・ジュヴェの演技論をめぐって」『表象』第7号、月曜社、2013年、pp. 191-206

田ノ口誠悟「演劇とデモクラシー：政治的言論生産装置としてのジャン・ジロドゥ」『ジークフリー

ト』『フランス語フランス文学研究』第103号、  
 仏文学会、2013年、pp. 217-232

内田智子「ジャン・アヌイ『荷物のない旅行者』  
 初演時の反応を見る」『フランス文学語学研究』  
 第32号、早稲田大学大学院「フランス文学語学  
 研究」刊行会、2013年、pp. 1-8

伊藤亮太「『事の次第』を読むモーリス・ブラン  
 ショ:サミュエル・ベケットにおける「分身」と「演  
 劇」』『演劇映像学2012』、早稲田大学演劇博物館、  
 2013年、pp. 85-98

井上善幸「サミュエル・ベケットの後期フランス  
 語散文小説の研究」『明治大学人文科学研究紀  
 要』第72号、明治大学人文科学研究所、2013年、  
 pp. 1-38

垣口由香「『勝負の終わり』における内破する空間」  
 『言語文化研究』第12号、静岡県立大学短期大学  
 部静岡言語文化学会、2013年、pp. 37-45

河野賢司「ベケットの戯曲についての覚え書き：  
 DVD: Beckett on Film を手がかりに」『九州産業大  
 学国際文化学部紀要』第54号、九州産業大学国  
 際文化学会、2013年、pp. 1-26

武部好子「ベケット前期演劇における喜劇的要素  
 —ベルクソンの笑いと狂言」『就実論叢』第42号、  
 就実大学・就実短期大学、2013年、pp. 19-28

堀田敏之「ベケット、無目的の存在」『愛知学院  
 大学教養部紀要』第60号、2013年、pp. 71-88

—「ベケット、悪魔払いの文学」『愛知学院大  
 学語研紀要』第38号、2013年、pp. 69-91

八木斉子「ベケット『残り火』におけるメディエ  
 ターとしての聞き手 (The Listener as a Mediator in  
 Beckett's Embers)」『演劇研究』第36号、早稲田  
 大学演劇博物館、2013年、pp. 93-103

山崎健太「反復する死、あるいは生：サミュエ  
 ル・ベケット『ロッカバイ』試論」『演劇映像学  
 2013』早稲田大学演劇博物館、2013年、pp. 113-  
 124

吉野修「ベケットとレヴィナス、知覚なき空間」  
 『論叢：現代語・現代文化』第10号、筑波大学人  
 文社会科学部現代語・現代文化専攻、2013年、  
 pp. 23-36

武田はるか「ナタリー・サロートの『つまらぬこ  
 とで』における言葉たちのドラマ」『フランス語  
 フランス文学研究』第101号、仏文学会、2012年、

pp. 207-222

高橋信良「ベルギーの舞台芸術」『「ベルギー」と  
 は何か? : アイデンティティの多層性』、pp. 143-  
 162

## ダンス研究・オペラ研究

川崎(梅野)りんこ「ルイ14世(1638~1715)  
 時代の女性表象 — オペラの登場人物"メデ"に  
 見る女性像の変遷」『技術マネジメント研究』第  
 12号、横浜国立大学、2013年、pp. 37-41

赤塚健太郎「フランス風クーラントの舞踏リズム  
 の研究」『成城美学美術史』第19号、成城大学、  
 2013年、pp. 87-89

—「J.S. バッハのフランス風クーラントと舞踏  
 の関わりについて」『美学美術史論集』第20号、  
 成城大学大学院文学研究科、2013年、pp. 37-66

金坂拓「ジャン=フィリップ・ラモーのアクト・  
 ド・バレ《ピュグマリオン》：ブフォン論争およ  
 び感覚論との関係をめぐって(修士論文要旨)」『美  
 学芸術学論集』第9号、神戸大学、2013年、pp.  
 73-75

譲原晶子「ノヴェールの作品におけるタブロー  
 と筋展開」『千葉商大紀要』第49-2号、2012年、  
 pp. 55-72

川野恵子「J.-G. ノヴェール『手紙』(1760)にお  
 ける舞踊の語り：アクション概念の検討を軸に」  
 『美學』第64号、美学会、2013年、pp. 167-178

園田みどり「ジュゼッペ・ヴェルディのオペラ  
 《マクベス》：パリ初演(1865)のための台本改訂  
 について」『研究紀要』第37号、東京音楽大学、  
 2013年、pp. 71-90

村上由美「マラルメ、夢想する詩人：『インド  
 の話』に追加されたバレエの場面をめぐって  
 (Mallarmé, un poète qui rêve : une scène de Ballet  
 ajoutée aux Contes Indiens)」, *Cahier multiculturel de  
 la Maison du Japon*, Centre d'études multiculturelles  
 de la Maison du Japon, 2013, pp. 34-46

大木裕子「ディアギレフのバレエ・リュス(1):  
 バレエ・リュスの誕生まで」『京都産業大学総合  
 学術研究所報』第8号、京都産業大学、2013年、  
 pp. 103-112

北原まり子「初期バレエ・リュス(1909-1912)  
 における絵画化 (Picturalisation dans les premières



années des Ballets russes (1909-1912) )」, *Cahier multiculturel de la Maison du Japon*, Centre d'études multiculturelles de la Maison du Japon, 2013, pp. 47-60

大林のり子「ラインハルト演出『強制結婚』とモリエールのコメディ・バレエ」『演劇学論叢』第13号、大阪大学文学部演劇学研究室、2013年、pp. 35-55

柳下恵美「フランスにおけるダンカン舞踊とその変遷：リザ・ダンカンと彼女の弟子の活動を中心に」『演劇映像学 2012』、早稲田大学演劇博物館、2013年、pp. 149-166

——「ダンカン舞踊の継承と発展：イザドラブルズを中心に」『演劇映像』第54号、早稲田大学演劇映像学会、2013年、pp. 105-125

村田宏「『レジェとバレエ』再考」『跡見学園女子大学文学部紀要』第48号、跡見学園女子大学、2013年、pp. 91-104

堀切克洋「象形文字としての身体：マラルメ、ニジンスキー、アルトーにおける運動イメージ概念をめぐる」『表象』第7号、月曜社、pp. 207-229

深澤南土実「バレエ・デ・シャンゼリゼの誕生《旅芸人》と《ランデヴー》(1945)を中心に」『人間文化創成科学論叢』第15号、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科、2013年、pp. 123-132

岡見さえ「エドゥアール・ロックとラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス：ケベック・ダンスにおける振付の革新の例として」『ケベック研究』第5号、日本ケベック学会、2013年、pp. 113-134

三宅舞「リズムの間様態性：アクラム・カーン／シディ・ラルビ・シェルカウイによるダンス作品『ゼロ度』におけるリズム間の緊張」『藝文研究』第104号、慶應義塾大学藝文学会、2013年、pp. 250-267

#### 文化政策

松本茂章「パリにおける民間芸術創造拠点の現状と課題：ベルタン・ポワレ文化スペースの10年」『社会科学』第99号、同志社大学、2013年、pp. 119-160

藤井慎太郎「演劇と国家 ベルギーの連邦化の過

程と舞台芸術」『早稲田大学文学研究科紀要』第58号、2013年、pp. 5-23

井内千紗「フランデレンの文化行政と一九八〇年代の『フランデレンの波』現象：文化の伝播から創造の時代へ」『「ベルギー」とは何か? : アイデンティティの多層性』、pp. 184-227

狩野麻理子「ベルギーの文化マネジメント教育：ブリュッセル自由大学 (ULB) の事例を基に」『「ベルギー」とは何か? : アイデンティティの多層性』、pp. 229-246

#### 日仏交流史・日仏比較文化論

白田由樹「川上音二郎・貞奴が演じた「東洋」：1900年パリ万国博覧会における日仏の位相から」『人文研究』第64号、大阪市立大学大学院文学研究科、2013年、pp. 95-114

森佳子「日本の歌劇事始め百年：帝国劇場の《マスコット》初演(1913年)をめぐる(特集この百年の文学)」『文学』2013年11月号、岩波書店、pp. 157-173

穴澤万里子「メーテルリンクと日本人」『日本大学芸術学部紀要』第58号、2013年、日本大学芸術学部、p.29-32

西野純子「クローデルと道行文」『L'Oiseau Noir』第17号、日本クローデル研究会、pp. 49-74

ウィリアム・マルクス「日本のオイディプス、あるいはギリシア悲劇に対して能が行うこと (*Edipe au Japon ou ce que le nô fait à la tragédie grecque*)」『フランス語フランス文学研究』第103号、仏文学会、2013年、pp. 3-23

#### 修士論文

久保田麻里「モリエール劇における理性の声：主人公の狂気に対する登場人物の行動に関する研究 (*Les voix de la raison dans le théâtre de Molière : étude sur les conduites des personnages face à la folie des protagonistes*)」(京都大学、2013年)

前野恵理子「ベケット作品における結末とその挫折——『ゴドーを待ちながら』を中心に」(明治学院大学、2012年)

平間孝子「サミュエル・ベケット『見ちがいがいい』について」(東北大学、2013年)

堀美佳「『ジゼル』から現代バレエへ」(明治学院

大学、2011年)  
越智雄磨「グザヴィエ・ル・ロワ振付作品における権力の分散：政治的可能性をめぐって (La distribution d'autorité dans les œuvres chorégraphiques de Xavier Le Roy : sur son potentiel politique)」(パリ第8大学、2013年)

#### 博士論文

奥香織「マリヴォー劇における『発見／露呈』：作劇法、思想、上演の機能をめぐって (La découverte dans le théâtre de Marivaux : dramaturgie, idées et fonctionnement de la représentation)」(パリ第4大学、2013年12月20日)

武田はるか「サミュエル・ベケット、マルグリット・デュラス、ナタリー・サロートの作品における声の問題 (La question de la voix dans les œuvres de Samuel Beckett, Marguerite Duras et Nathalie Sarraute)」(パリ第8大学、2013年4月6日)

#### 3. その他 (解説・評論・エッセイなど)

石井達朗「カンパニー・マギー・マラン『Salvesサルヴズ』」『ダンスマガジン』2013年9月号、p.76

石田英敬「劇評『マラルメ・プロジェクト』讃」『舞台芸術』第17号、2013年、pp.160-165

石谷治寛「マラルメ・プロジェクトⅢ 劇評 身体と声の狭間で」『舞台芸術』第17号、2013年、pp.157-159

逸見龍生、王寺賢太、田口卓臣「〈座談会〉今、ディドロを読むために」『思想 特集=ディドロ生誕300年』岩波書店、2013年12月号、pp.6-48

伊藤洋「[わたしの一冊] Georges Forestier, *Le Théâtre dans le théâtre sur la scène française du XVII<sup>e</sup> siècle*, Dros, 1981」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、pp.6-8

伊藤里優子「2013年、モナコ世界演劇祭に参加して」『シアトロ』2013年11月号、pp.68-69

井上優「宮城聡の反メタシアター?—SPACの『黄金の馬車』を芸道ものとして読む」『シアターアーツ』第56号、2013年、pp.39-43

岩切正一郎、鶴山仁、中村まり子、佐藤康「演出家から見たフランス演劇」『Cahier 12』、仏文学会、2013年、pp.9-13

海野敏「NBA バレエ団『ディアギレフの夕べ』」『ダンスマガジン』2013年5月号 p.81

笈田ヨシ「笈田ヨシ 傘寿『俳優漂流』を語る：講演会より抜粋」『悲劇喜劇』2013年10月号、pp.18-22

岡田 Victoria 朋子「フランスの音楽祭」『フランス』2013年5月号、白水社、pp.14-15

——「坂東玉三郎 フランス芸術文化勲章コマンドゥール受章 / La Ciboulette」『フランス』2013年4月号、白水社、p.10

——「Croquefer/L'île de Tulipatan」『フランス』2013年3月号、白水社、p.10

——「Opéra de Dijon」『フランス』2013年6月号、白水社、p.10

——「L'Autre Monde/Blanche Neige」『フランス』2013年7月号、白水社、p.10

——「南仏音楽・美術紀行」『フランス』2013年10月号、白水社、p.10

岡本章「錬肉工房『女中たち』上演の軌跡」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、pp.9-11

小山内伸「毛皮族パリ公演「女と報酬」：破廉恥の誇示と過激な笑い」『シアトロ』2013年1月号、pp.26-27

小田中章浩「フランス演劇2012：政権交代、金融危機の中でのフランス演劇」『国際演劇年鑑2013』、国際演劇協会日本センター、2013年、pp.146-151

オニール八菜「INTERVIEW エトワールたちのオーラに魅了されて、オペラ座へ」『ダンスマガジン』2013年12月号、pp.60-61

片山泰輔「書評 伊藤裕夫・藤井慎太郎編『芸術と環境：劇場制度・国際交流・文化政策』」『文化経済学』第10号、文化経済学会、2013年、pp.51-53

桂真葉「ロベール・ルパーージュ作品とテクノロジー：照明デザイナー、西川園代インタビュー」『シアターアーツ』第55号、pp.23-31

マチュー・ガニオ、イザベル・シアラヴォラ、アニエス・ルテステュ、ステファン・ビュリオン「INTERVIEW 『天井敷敷の人々』主演エトワールに聞く」『ダンスマガジン』2013年3月号、pp.10-31

マチュー・ガニオ、カール・パケット「INTERVIEW」

『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 26-33  
 スタン・カバル＝ルエ「INTERVIEW：ベジャールの哲学を受け継いで」『ダンスマガジン』2013年11月号、p. 93  
 金坂拓「書評：『ラモー氏の原理に基づく音楽理論と実践の基礎』ジャン・ル・ロン・ダランベール著、片山千佳子・安川智子・関本菜穂子訳、春秋社、2012年」『美学芸術学論集』第9号、神戸大学、2013年、pp. 68-72  
 北原まり子「書評・紹介 シェング・スハイエン著／鈴木晶訳『ディアギレフ：芸術に捧げた生涯』」『演劇映像』第54号、早稲田大学文学学術院演劇映像研究室、2013年、pp. 45-48  
 熊谷謙介「[書評] 佐々木滋子『祝祭としての文学——マラルメと第三共和政』」『Cahier 12』、仏文学会、2013年、pp. 14-15  
 黒岩卓「[書評] 川那部和恵『ファルスの世界 15～16世紀フランスにおける『陽気な組合』の世俗劇』」『Cahier 11』、仏文学会、2013年、pp. 30-32  
 斉木眞一「1913年のプルーストと音楽」『思想特集＝時代の中のプルースト』第1075号、2013年11月、pp. 190-206  
 斉藤惇子「[書評] 佐伯隆幸訳『コルテス戯曲選2』（れんが書房新社）」『シアターアーツ』第56号、pp. 126-127  
 齋藤公一「La vie est très dure... ああ無常！」『Etudes françaises』第20号、早稲田大学文学部フランス文学研究室、2013年、pp. 134-136  
 佐伯隆幸「[書評] Cécile Backès, *Anthologie du Théâtre français du 20<sup>e</sup> siècle*, coll. Folioplus classique, Gallimard, 2011」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、p. 14  
 佐藤康「戯曲の黄昏に フランス翻訳劇小史」『ふらんす』2013年12月号、白水社、pp. 12-14  
 佐々木涼子「モーリス・ベジャール・バレエ『ライト』『ボレロ』ほか：あざやかに蘇った幻の名作」『ダンスマガジン』2013年6月号、pp. 28-31  
 佐藤友紀「追悼 パトリス・シェロー とんでもないアイデアも作品に昇華させ続けた」『悲劇喜劇』2013年12月号、pp. 29-31  
 ブリジット・サリモ「杉本博司が、木偶に命を吹き込む (Horoshi Sugimoto donne vie aux poupées de

bois)」『ル・モンド』2013年10月14日付  
 三遊亭竜楽「フランス語で古典落語」『ふらんす』2013年12月号、白水社、pp. 4-5  
 コリンヌ・ジャキエリ「ベジャール・バレエ：ドンが甦ったマーラーの夜」『ダンスマガジン』2013年11月号、pp. 32-38  
 カテリーナ・シャルキナ「INTERVIEW ジルが作ってくれた恋人たちのデュエット」『ダンスマガジン』2013年6月号、pp. 32-34  
 白河直世「ルドルフ・ヌレエフ没後20周年、生誕75周年記念特集」『バレリーナへの道』第94号、文園社、2013年5月、pp. 68-69  
 新藤弘子「19世紀のパリへと誘われて」『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 12-17  
 鈴木晶「オペラ座の迷宮 (23) バレエ・リュスの時代 II」『ダンスマガジン』2013年1月号、pp. 76-79  
 ——「オペラ座の迷宮 (最終回)：リファール時代の始まり」『ダンスマガジン』2013年2月号、pp. 84-87  
 ——「[日本舞踊×オーケストラ——伝統の競演]：日本舞踊とバレエ刺激的な融合」『ダンスマガジン』2013年3月号、p. 82  
 副島博彦「《春の祭典》100年」『舞踊学会ニューズレター』第4号、舞踊学会、pp. 2-3  
 高瀬元子「ローマ、パリ旅日記：オールジャパンバレエユニオン Senior Managing Director」『バレリーナへの道』第95号、文園社、2013年9月、pp. 116-117  
 高橋宏幸「ブロードウェイから3マイル：モンリオールのフェスティバル Festival TransAmériques」『テアトロ』2013年9月号、pp. 74-75  
 竹原あき子「パリの図書館・書店は国際色豊か⑥ オペラ座は「博物館-図書館」でもある」『図書新聞』第3098号、図書新聞株式会社、2013年2月16日、p. 7  
 立木樺子「東西の演劇知の結晶：錬肉工房公演『オイディプス』@上野ストアハウス、3月6日～10日」『図書新聞』第3110号、図書新聞株式会社、2013年5月18日、p. 8  
 中條忍「クローデルの劇作術と日本演劇」『L'Oiseau Noir』第17号、日本クローデル研究会、

2013年、pp. 1-22

塚本知佳「〈少女〉が沈黙するとき オマール・ポラス構成・演出『ロミオとジュリエット』」『シアターアーツ』第54号、2013年、pp. 63-66

——「死を想うこと——クロード・レジ『室内』」『シアターアーツ』第56号、2013年、pp. 44-47

新倉真由美「ルドルフ・ヌレエフの生涯」『バレリーナへの道』第94号、文園社、2013年5月、pp. 70-71

富澤ひろ江「[書評] 川島京子著『日本バレエの母エリアナ・パヴロバ』:日本バレエの道程を検証」『図書新聞』第3108号、図書新聞株式会社、2013年4月27日、p. 7

富田章「ロートレックとポスター」『美術フォーラム21』第27号、醍醐書房、2013年、pp. 119-124

仲代達矢「念願のイオネスコ劇場」『ふらんす』2013年9月号、白水社、pp. 4-5

鳴海康平「これまでの滞仏を振り返っての所感」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、p. 12  
西樹里「[書評] ベルナル＝マリ・コルテス著、佐伯隆幸訳『西埠頭／タバタバ——コルテス戯曲選2』」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、p. 15

根岸徹郎「書を捨てるな、劇場へ行こう:『コレクション現代フランス語圏演劇』のすすめ」『ふらんす』2013年12月号、白水社、pp. 17-18

ジョルジュ・バニユ「東洋への近道——ルーマニアの演劇祭における東洋の輝き——シビウ、クラヨーヴァ、クルジュ (Chemin de traverse orientaux—révélations orientales dans des festivals roumains—Sibiu, Craiova, Cluj)」, *Alternatives théâtrales*, 116, Bruxelles, *Alternatives théâtrales*, pp. 59-61

林正和「世界の演劇の坩堝:パリ・秋リポート(1)」『テアトロ』2013年2月号、pp. 72-75

——「世界の演劇の坩堝:パリ・秋リポート(2) 古典の翻案、マルターラー、ベケットなど...」『テアトロ』2013年3月号、pp. 68-71

——「世界の演劇の坩堝:パリ・2013春舞台シーン」『テアトロ』2013年6月号、pp. 64-66

——「アヴィニオンフェスティバル(通称アヴィニオン演劇祭)2013」『テアトロ』2013年9月号、

pp. 67-69

ジュリアン・ファヴロー「INTERVIEW:「ボレロ」の魅惑」『ダンスマガジン』2013年4月号、pp. 12-13

藤井慎太郎「海外STUDY 欧州連合の文化政策:カルチャー・プログラム(2007-13)からクリエイティブ・ヨーロッパ・プログラム(2014-20)へ」『地域創造』第34号、地域創造、2013年、pp. 64-68

藤原亜希「Germaine ACOGNY ダンサー・振付師(セネガル)」『ふらんす』2013年6月号、白水社、pp. 52-53

堀切克洋「翻訳(不)可能な文化をめぐる旅:ジャン＝ミシェル・ブリュイエル／LFKs『たった一人の中庭』」『シアターアーツ』第54号、2013年、pp. 101-113

——「フランス語圏舞台芸術・文献目録(2012)」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、pp. 16-22

間瀬幸江「明るさと寂しさのコントラスト——コメディ・デ・シャンゼリゼ『シャイヨの狂女』評」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、p. 13

松村悠子「マラルメ書誌」『マラルメの現在』大出敦編、水声社、2013年、pp. 359-396

ジョゼ・マルティネス「振付家が語る:『天井桟敷の人々』主演ダンサーの魅力」『ダンスマガジン』2013年3月号、p. 21

——「CHOREOGRAPHER INTERVIEW」『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 34-35

ジェラルド・マノニ「海外バレエ都市2012:フランス」『ダンスマガジン』2013年2月号、p. 60  
——「熱気に満ちたパリの冬:『ドン・キホーテ』『フォーサイス／ブラウン』」『ダンスマガジン』2013年3月号、pp. 44-47

——「ヴェルサイユ公演レポート:まさにベジャール・マジック!」『ダンスマガジン』2013年4月号、pp. 16-17

——「パリ・オペラ座バレエ『マーラー交響曲3番』」『ダンスマガジン』2013年7月号、pp. 44-45

——「パリ・オペラ座バレエ『輝夜姫』:視覚と聴覚の比類なき美」『ダンスマガジン』2013年5月号、pp. 42-43



- 「パリ・オペラ座バレエ『ベジャール、ニジンスキー、ロビンズ、シェルカウイ／ジャレ』』『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 56-57
- 三浦雅士、イリ・ブベニチェク、オットー・ブベニチェク「新しいストーリー・バレエへ！：双子が創り出す魔術的バレエの世界」『ダンスマガジン』2013年3月号、pp. 56-62
- 三浦雅士、ジュリアン・ファヴロー「ファヴロー、東京で『ボレロ』を踊る！」『ダンスマガジン』2013年5月号、pp. 12-20
- 三浦雅士、藤堂眞子「ベジャールに見つめられて：東京バレエ団のベジャール時代を担ったバレリーナ」『ダンスマガジン』2013年7月号、pp. 52-58
- 三浦雅士、マニュエル・ルグリ、オーレリ・デュボン「マニュエル・ルグリの新しき世界 III」『ダンスマガジン』2013年7月号、pp. 8-17
- 三浦雅士、ジル・ロマン「ベジャールを生き返らせる：ベジャール・バレエ・ローザンヌをリフレッシュした芸術監督」『ダンスマガジン』2013年6月号、pp. 36-42
- 三浦雅士、アニエス・ルテステュ「天井桟敷の人々」衣裳の秘密『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 18-25
- 三橋 IKUO「マイムの周りで世界は廻る」『ふらんす』2013年1月号、白水社、pp. 4-5
- 宮本健太郎「海外レポート フランス 国際演劇教育連盟世界大会参加報告」『げき：児童・青少年演劇ジャーナル』第12号、2013年、pp. 68-71
- 宗像衣子「[書評] 永倉千夏子『＜彼女＞という場所 もうひとつのマラルメ伝』」『Cahier 11』、仏文学会、2013年、pp. 34-35
- 村山久美子「牧阿佐美バレエ団：プティ『デューク・エリントン・バレエ』」『ダンスマガジン』2013年2月号、pp. 68-69
- 「小林十市の圧倒的な名演」『ダンスマガジン』2013年3月号、p. 63
- マチルド・モニエ「重要なのはムーヴメントと独創的な身振りです」『ダンスマガジン』2013年11月号、pp. 90-92
- 森新太郎「ゴドーを思い出しながら」『悲劇喜劇』2013年5月号、pp. 6-8
- 森立子（インタビュー・構成）「あの人にこの質問を 第4回 石井達朗さん（舞踊評論家）」『舞踊学会ニューズレター』第4号、舞踊学会、pp. 3-7
- エルヴェ・モロー、ドロテ・ジルベール「INTERVIEW ブベニチェク：ニューイヤー・ガラ〜カノン」『ダンスマガジン』2013年3月号、pp. 52-54
- エルヴェ・モロー「INTERVIEW 奇跡的な復活を遂げたパリ・オペラ座の貴公子」『ダンスマガジン』2013年4月号、pp. 22-26
- 横山義志「最近フランス演劇事情：ピイ、ポムラ、レジ」『ふらんす』2013年12月号、白水社、pp. 15-16
- 吉田裕「ストラヴィンスキー・ザ・バレエ」『ダンスマガジン』2013年7月号、p. 77
- ブリジット・ルフェーヴル「パリ・オペラ座バレエ芸術監督が語る：エトワールの条件」『ダンスマガジン』2013年3月号、pp. 38-41
- ハルトムート・レーギッツ「モンテカルロ・バレエ：マイヨール新作『コレ』」『ダンスマガジン』2013年8月号、pp. 58-59
- エリザベット・ロス「INTERVIEW：『ライト』の魅惑」『ダンスマガジン』2013年4月号、pp. 14-15
- 渡辺真弓「エトワールへの道」『ダンスマガジン』新書館、2013年3月、pp. 42-43
- 渡邊守章「日仏演劇協会の古い話——というか来し方行く末」『日仏演劇協会会報』復刊第4号、2013年、pp. 3-5
- 渡辺保「花柳壽輔振付『牧神の午後』」『カーリユー・リヴァー』：日本舞踊の身体『ダンスマガジン』2013年6月号、p. 80
- ミッシェル・ワッセルマン、中條忍監修「日本におけるクローデル滞在年譜」『L'Oiseau Noir』第17号、2013年、日本クローデル研究会、pp. 108-109
- 「Preview：ブベニチェク・ニューイヤーガラ〜カノン〜パリから生まれる鼓動」『ダンスマガジン』2013年1月号、pp. 20-23
- 「稽古場のダンサーたち (39) ジョシユア・オフエルト：パリ・オペラ座バレエ」『ダンスマガジン』2013年1月号、pp. 46-48
- 「『ブベニチェク・ニューイヤー・ガラ〜カノン』：

二十世紀のバレエの息吹』『ダンスマガジン』  
2013年3月号、pp. 48-51

「稽古場のダンサーたち オスカー・シャコーン：  
ベジャール・バレエ』『ダンスマガジン』2013年  
3月号、pp. 68-69

「東京バレエ団 ベジャール振付『くるみ割り人  
形』』『ダンスマガジン』2013年3月号、p.66

「モーリス・ベジャール・バレエ：めくるめく  
興奮と熱狂』『ダンスマガジン』2013年4月号、  
pp.10-11

「ベジャール・バレエのバックステージ』『ダンス  
マガジン』2013年4月号、pp. 18-19

「東京バレエ団『ベジャール・ガラ』』『ダンスマ  
ガジン』2013年4月号、p. 59

「第41回ローザンヌ国際バレエコンクール』『ダ  
ンスマガジン』2013年5月号、pp. 52-58

「NBA バレエ団公演ディアギレフの夕べ：『クレ  
オパトラ』『ル・カルナヴァル』『ポロヴェツ人の  
踊り』『ショピニアーナ』』『バレリーナへの道』  
第94号、文園社、2013年5月、pp. 18-19

「東京春祭の Stravinsky vol.2 ストラヴィンスキー・  
ザ・バレエ：ド・バナの《アポロ》、ベジャールの《春  
の祭典》』『バレリーナへの道』第94号、文園社、  
2013年5月、pp. 38-39

「パリ・オペラ座バレエ学校特別ガラ公演〈フラ  
ンス派ダンス 300年祭〉』『バレリーナへの道』第  
94号、文園社、2013年5月、pp. 50-53

「第41回ローザンヌ国際コンクール』『バレリーナ  
への道』第94号、文園社、2013年5月、pp. 54-  
59

「ヌレエフ讃歌 16人のコメント』『バレリーナへ  
の道』第94号、文園社、2013年5月、pp.72-79

「ルドルフ・ヌレエフ振付作品によるガラ公演：  
パリオペラ座ガルニエ宮』『バレリーナへの道』  
第94号、文園社、2013年5月、pp. 80-83

「パリ・オペラ座バレエ団日本公演『天井桟敷の  
人々』 オーディション』『ダンスマガジン』2013  
年6月号、p. 75

「パリ・オペラ座バレエ『ローラン・ブティ・ブ  
ロ』』『ヌレエフへのオマージュ』』『ダンスマガジン』  
新書館、2013年6月、pp. 44-51

「マギー・マラン』『ダンスマガジン』新書館、  
2013年7月、p. 48

「ステージがアートする：フィリップ・ジャンティ  
の世界』『演劇ぶっく』第163号、株式会社えんぶ、  
2013年6月、p. 58

「DVD『パリ・オペラ座エトワール、マチュー・  
ガニオのノーブル・バレエクラス』』『ダンスマガ  
ジン』2013年8月号、pp. 38-41

「パリ・オペラ座バレエ『天井桟敷の人々』』『ダ  
ンスマガジン』2013年8月号、pp. 10-11

「イザベル・シアラヴォラ』『ダンスマガジン』  
2013年9月号、pp. 62-63

「パリ・オペラ座バレエ団2013年日本公演『天井  
桟敷の人々』』『バレリーナへの道』第95号、文  
園社、2013年9月、pp. 40-43

「ルドルフ・ヌレエフ没後20周年・生誕75周年  
記念特集第2弾』『バレリーナへの道』第95号、  
文園社、2013年9月、pp. 50-90

「マイヨー、モンテカルロ芸術監督20周年』『ダ  
ンスマガジン』2013年11月号、p. 96

「モンタルヴォ、12月に日本公演』『ダンスマガ  
ジン』2013年11月号、p. 84

今号も文献目録をお届けいたします。原則として  
2013年内に発刊された書籍、学術論文、記事な  
どを対象としていますが、前号までに収録しきれ  
なかった文献も合わせて掲載しております。収録  
文献については可能なかぎり網羅的に調査をして  
おりますが、遺漏がございましたら事務局までご  
連絡ください。会員の皆さまのご協力のほど、よ  
ろしくお願いいたします。(H)